

生徒の安息場

学籍番号 C124030A

名前 井上雅都

問題テーマ（学外の人に羨ましいと思われるようなカフェテリアを提案する。）

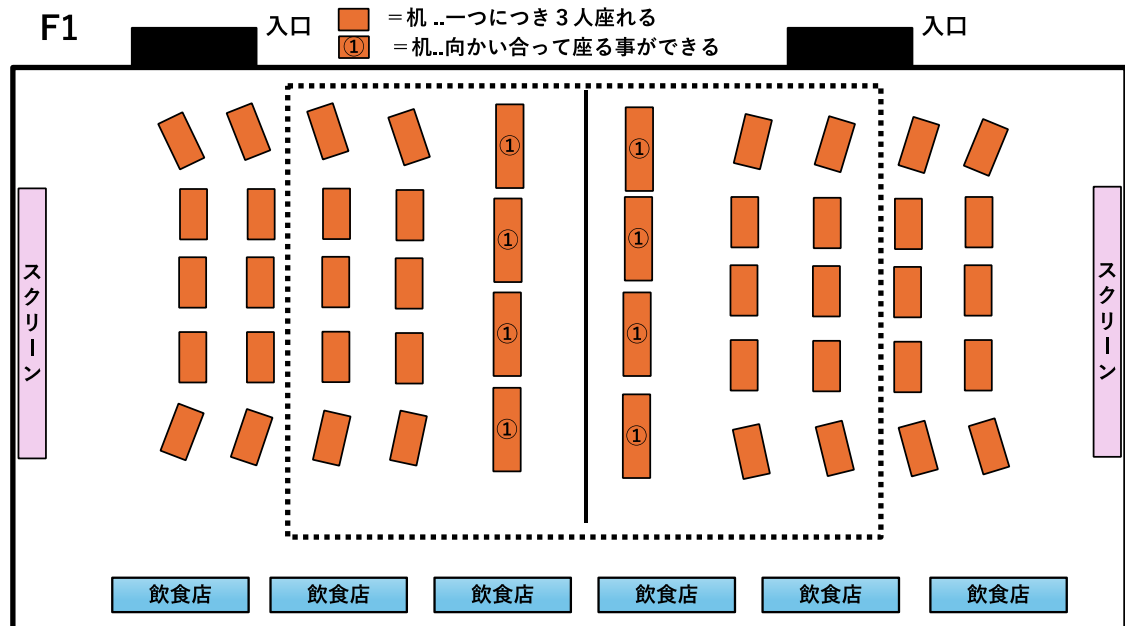
1.はじめに

まず、東北公益文化大学の生徒の友達や先輩にこれまでの体験したことや、課題点について対話した。そこで、この大学のカフェテリアでは言葉の通り飲食する場所というのが定着している事が挙げられた。また、バス等での通学者に対してでは空いた時間をカフェテリアで過ごす事が少なく、図書館を利用するという事がわかった。そこからカフェテリアでは魅力となる事がなく学校で飲食する以外には行かないということもわかった。これらの挙げられた点から、カフェテリア＝飲食する場所という概念が根深いと考えた。そしてこの概念をなくすために飲食としての魅力とその場に付加価値をつけて作り直すという必要があると感じる。

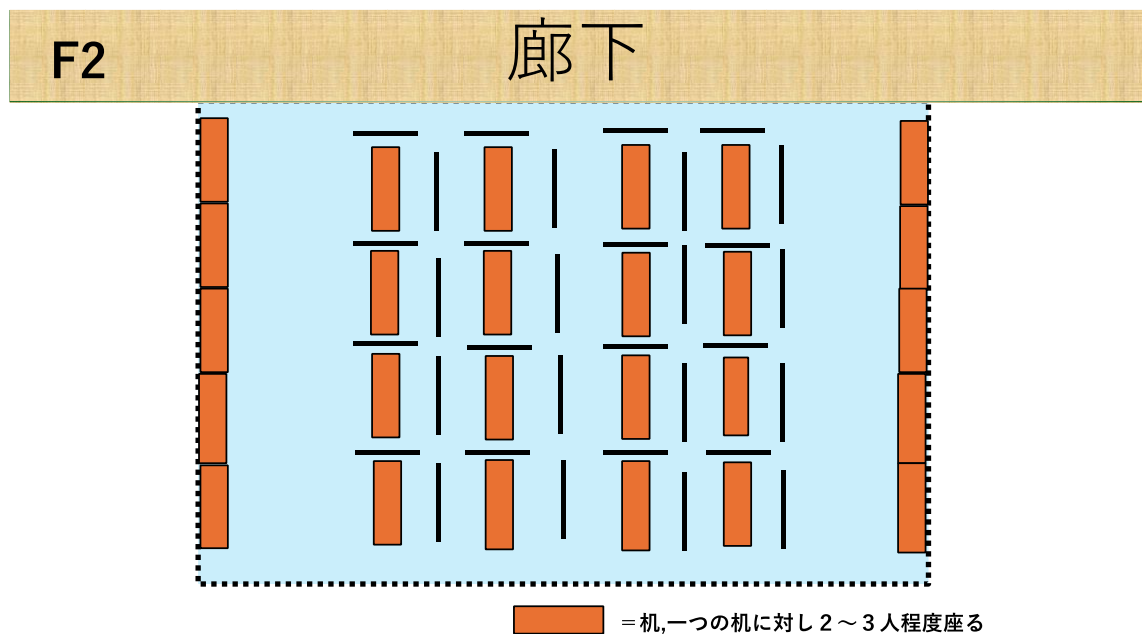
2.1 プロトタイプの提案

課題解決のために、さまざまな設備や機能を取り入れた「生徒の安息の場」をつくる。イメージとしては北海道にある野球場のエスコンフィールドを意識したような作りに改修する。主にできることとしてはスポーツ観戦ができること、飲食店の充実化を図るというこの2つだ。1つ目のスポーツ観戦では、大きなスクリーンを置きサッカーや野球、バレーボールなどといったさまざまなスポーツを隔たりがなく観戦する事ができるような仕組みを作る。また、スクリーンが1つだけだとスポーツが限られてしまうため場所を隔ててもう1つ置き観戦できるようにする。スポーツの配信が行われていない時間帯の時はニュースを流し積極的に日本の政治や事象に触れる機会を増やすようにする。2つ目は、酒田市に店を置いている飲食店をカフェテリアに出店してもらい飲食物の充実化を図るという事だ。現段階の学食では1週間ごとに料理が変わるものの飽きを感じてしまったり、売り切れになってしまったりする事が多い。そのため、飲食店を多く出店し1つの魅力として取り入れる。具体的に酒田市ではラーメンが日本1位ということもありラーメンを軸としたもの出店する。また、カフェテリアの「カフェ」を意識して Starbucks Coffee や飲食物の「飲」などを強調した店も出店する。特に消費者に対し、若者向けの購買心理を増進するものを中心に提供する。

2.2 プロトタイプの提案（プロダクト）



点線部分は2回スペース



3.期待されるメリットデメリット

期待される効果は、顧客（公益大生等）の満足度が向上する。また売り切れになって食べたいものが買えないというものが少なくなり解消される。授業間で空いた人などといった人が使う場としてスポーツ観戦やニュースを確認しうま

く時間を当てる事ができる。観戦する事で学年問わず交流する事ができる。デメリットとしては運営するにあたって経営管理する人員不足であるという事。しかしこの事案に関しては寮で暮らしている人を雇用すると良いと考える。理由としては、寮生の中では働く場所が遠くアルバイトをする事ができないという学生が多く存在するからだ。このため、バイト希望者を雇用する事で空いた時間に有効活用し、施設運用もする事ができる。他にも、デメリットとしてカフェテリアで勉強したいという人がある。そのような場合、少なからずスポーツを観戦すると応援する声などが溢れてしまう事がある。そういったことを解決するために壁で分けられた個室区間を作り出し分けて座り音や声を遮断する。また、今のカフェテリアでは2回にも座る場所があるのでその場所を勉強区間として振り分けるようにする。

4.おわりに

本稿では本校のカフェテリアについて取り上げ、カフェ＝飲食する場という考えをなくしそのための解決策を検討した。その結果今のカフェテリアも良い場所だが、スポーツ観戦というキャッチのある何かを作る事が必要だと考えた。また、細かい設備としてもエアコンの設置やネットワークの充実化、パソコンなどの電子器具の不足が考えられる。細かい設備を見直す事も一つの魅力になると考えた。